

⚠ 注意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「本体の組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などで指がをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかりと組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど火気の側での使用はお止めください。
- 高温多湿の場所での使用はお止めください。
- 直射日光や熱機器などの熱があたる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面を使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線の多くあたる場所・温度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- 本体にのべたり、座ったり、踏み台としての使用はお止めください。特に幼児や子供には注意してください。
- 天板の端に手を付いた状態で起き上がらないでください。過度な荷重をかけると転倒する原因になります。
- 本体を移動する時は、引きずらないでください。床面をキズつける原因になります。
- 本体を移動する時は、置いてあるものを全ておろしてからしっかり持って移動してください。
- 本製品に使用している材料は、ホルムアルデヒド放散量の少ないものの使用に努めていますが、においが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。
- 定期的に各部のゆるみを点検してください。

DOSHISHA

デスク ビスカーナ120W 取扱説明書

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

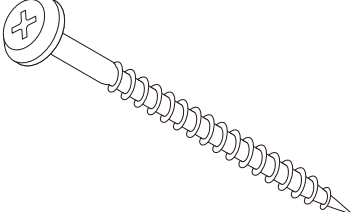
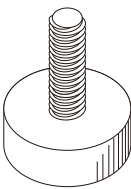
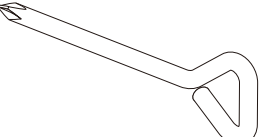
品 番	組立てサイズ (cm)			耐荷重 (kg) ※1
	幅	奥 行	高 さ	天 板
BC1270-DS	(約) 120	(約) 40	(約) 71	(約) 20

※1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

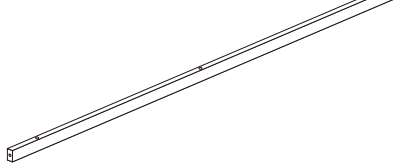
内容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	カムロック(A1)	連結シャフト(A2)	ねじB
部品図			
数 量	3	3	9

部品名	ねじC	アジャスター(D)	⊕ドライバー(E)
部品図			
数 量	4	4	1

部品名	脚	天板	背板
部品図			
数 量	2	1	1

部品名	横バー
部品図	
数 量	1



・品質表示ラベルは本体に付属しています。

◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。

◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。

◎天災などの不可抗力やお客様ご自身の修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

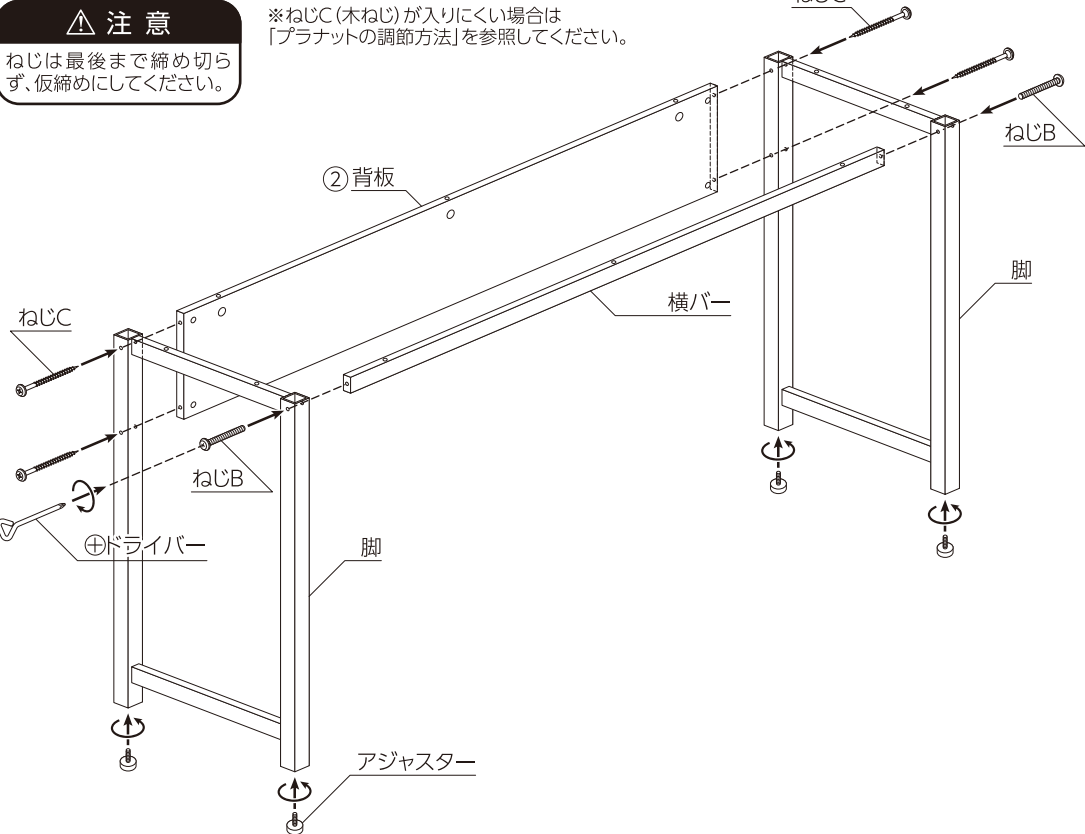
--

200612D

この取扱説明書に記載してある仕様・デザインは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。イラストは実物と異なる場合があります。予めご了承ください。

1 脚の組立て

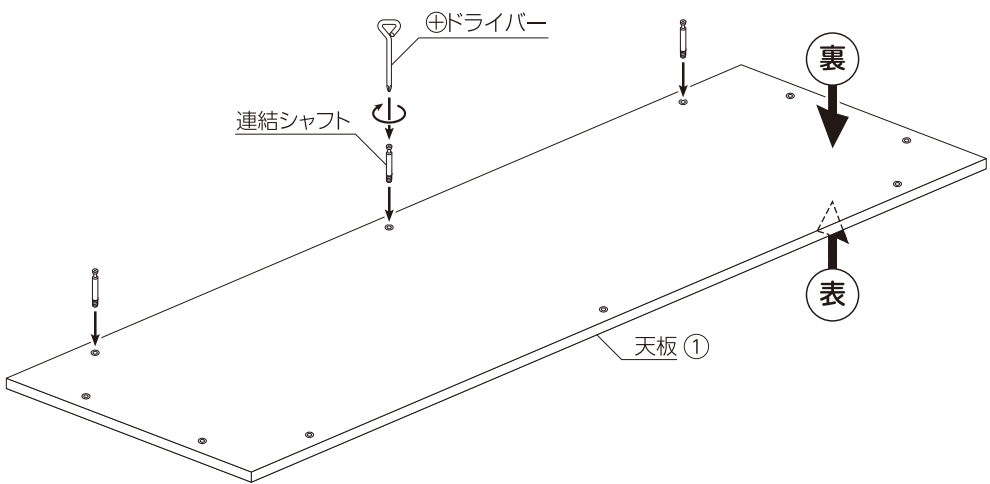
脚に背板を取付け、次に横バーを取付けます。ねじは仮締めにします。



2 連結シャフトの取付け

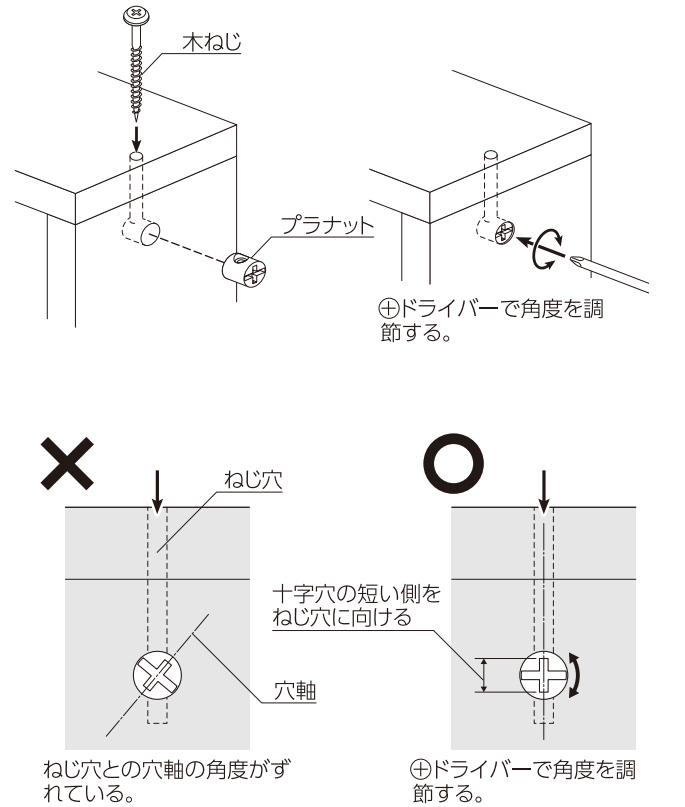
天板の裏側(ねじ穴が有る側)の図の3か所に連結シャフトを取付けます。

※連結シャフト取付け方の詳細は、「連結シャフトの取付け方」を参照してください。



プラナットの調節方法

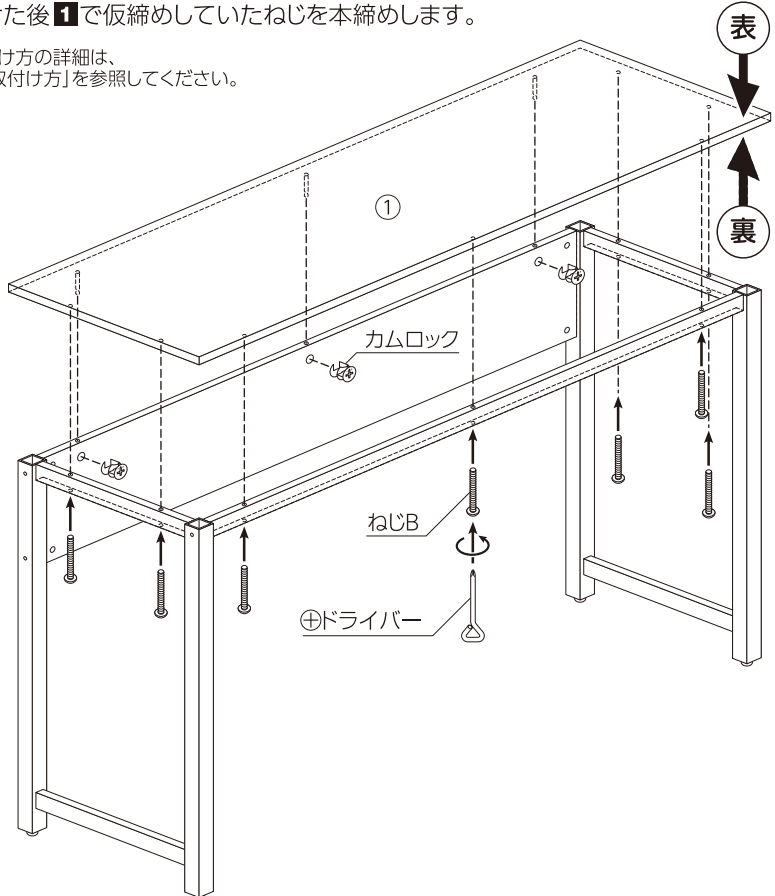
木ねじの下穴には木ねじ固定のためのプラナットがあらかじめ入っています。穴軸がずれて木ねじが入らない場合は角度の調節をしてください。



3 天板の取付け

1で組立てたものにねじBとカムロックで天板を取付けます。天板を取付けた後**1**で仮締めしていたねじを本締めします。

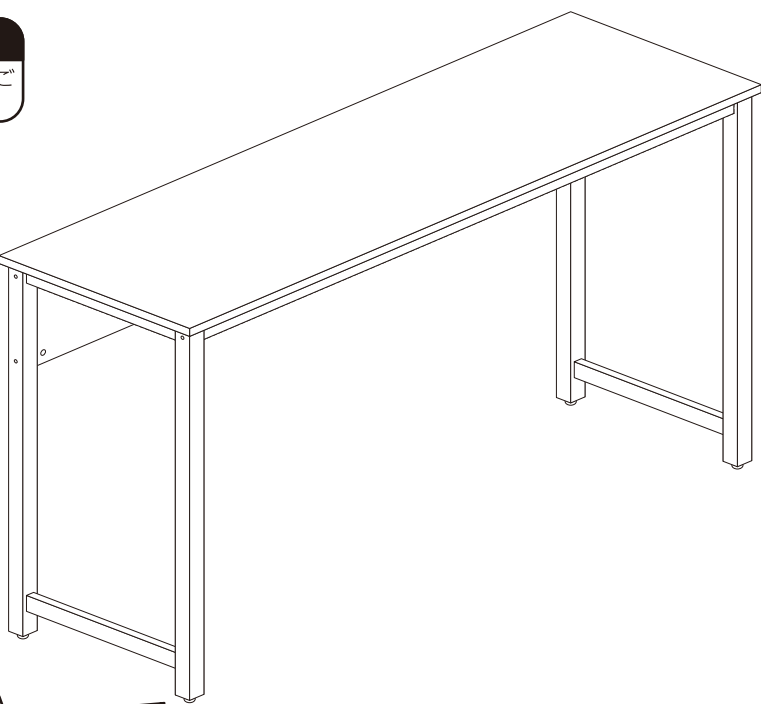
※カムロック取付け方の詳細は、「カムロックの取付け方」を参照してください。



4 完成

最後にしっかり組立てられているか確認して完成です。

△ 注意
定期的にゆるみがないかご確認ください。

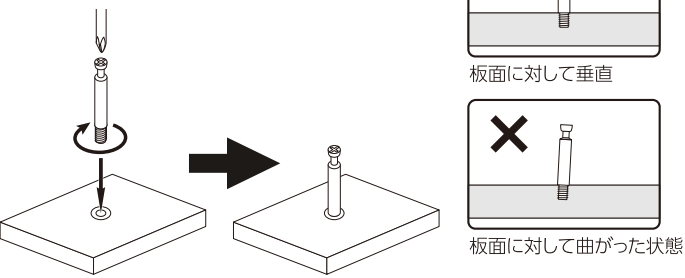


△ 注意
ガタつきがある場合は、アジャスターを回してガタつきがないように調整してください。

連結シャフトとカムロックの取付け方

■連結シャフトの取付け方

連結シャフトは⊕ドライバーで垂直に根元まで取付けてください。
※曲がった状態ではカムロックの取付けが出来なくなります。



■カムロックの取付け方

1カムロックの矢印を連結シャフトに向けてはめ込みます。
2⊕ドライバーで時計まわりに固くなるまで締めつけます。

